

## ショートトラック日本代表・本学学生のドーピング検査陽性反応を受けて

スポーツ仲裁裁判所は、平昌五輪のショートトラック日本代表選手である本学人間科学部4年の齋藤慧選手に対して、現地でのドーピング検査において陽性反応が示されたことから、暫定資格停止を決定いたしました。報道によりますと、出発直前の国内合宿中の検査では陰性でしたが、現地に到着後の検査において陽性反応が出たということです。

2月12日付の齋藤君のコメントには、このような検査結果が出たことに大変驚いていること、ドーピング（違反）を行おうと考えたことはこれまでに一度もないこと、けがや体調を崩した際に処方される薬については事前に専門家に相談し、日常の飲食にも気を付けていたことが記載されています。

また、末尾には、「自身の身の潔白を証明するために戦っていきたいと考えておりますが、今、それを要求することはオリンピックを戦っているチームの皆に迷惑をかけると思ったので、暫定資格停止という決定を受け入れ、自発的に選手村を出てチームを離脱致します。」と綴られています。

齋藤君は本学に入学して以来、ひたむきに練習に取り組むとともに、学生の本分を忘れずに学業にも専念し、夢であったオリンピック代表の座を大変な努力でつかみました。選手としてだけでなく、人としての齋藤君をよく知る私どもとしては、齋藤君が意図してこのような禁止薬物を摂取したとは到底信じられません。

本職としては、齋藤慧君の潔白を断固として信じるとともに、全学をあげて前途ある同君のこれからをバックアップしていく所存です。

2018年2月14日

神奈川大学長 兼 子 良 夫